

科目名	建築法規 2							年度	2025		
英語科目名	Building Codes and Regulations 1							学期	後期		
学科・学年	建築設計科 2年次			必／選	必修	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	山本徳子			教員の実務経験		あり	実務経験の職種		建築設計・行政		
【科目の目的】											
建築法規の社会的意義と個々の法定内容を理解し、建築設計等の基礎的知識及び実践的知識として身に着け、活用できるようにすることを目的とする。											
【科目の概要】											
毎回毎単元、法令集の重要な部分に自分で線引きをする。同時に、法令が何を規制しているか、どのように規制内容をクリアしていくかを具体的な図や計算などで説明し、さらに「授業プリント」の空欄の穴埋めや、二級建築士試験の過去問題等を題材にした「小テスト」を解きながら、自分の力で答えを導くことを実践する。繰り返し法令集を引くという実践的授業により、法令集の独特の専門的な表現を読み理解し、具体的な建築設計事例にまで落としこむことができるようにする。											
【到達目標】											
A建築基準法・用語の定義の知識を身に着ける。 B建築基準法・面積・高さの算定方法の知識を身に着ける。 C建築基準法・一般構造・防火と避難の知識を身に着ける。 D建築基準法・構造計算・構造強度等の知識を身に着ける。 E建築基準法・手続き規定の知識を身に着ける。											
【授業の注意点】											
法令集とテキストや赤ペン、青ペン、過去の授業プリントファイルは必ず持参し、積極的な態度で授業に臨むこと。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック 評価	レベル5 優れている			レベル3 ふつう			レベル1 要努力				
到達目標 A	用語の定義の内容を深く理解し、建築計画に活かすことができる			用語の定義の内容を重要だと認識し、概ね理解している			用語の定義の内容を理解していない				
到達目標 B	面積・高さの算定方法の問題を解くことができる			面積・高さの算定方法の知識がある			面積・高さの算定方法の知識がない				
到達目標 C	一般構造・防火と避難の内容を深く理解し、建築計画に活かすことができる			一般構造・防火と避難の内容を重要だと認識し、概ね理解している			一般構造・防火と避難の知識がない				
到達目標 D	構造計算・構造強度等の内容を深く理解し、建築計画に活かすことができる			構造計算・構造強度等の内容を重要だと認識し、概ね理解している			構造計算・構造強度等の内容を理解していない				
到達目標 E	確認申請等手続き規定の内容を深く理解している			確認申請等手続き規定の内容を重要だと認識し、概ね理解している			確認申請等手続き規定の内容を理解していない				
【教科書】											

建築関係法令集、初学者の建築講座「建築法規」									
【参考資料】									
授業用プリント集									
【成績の評価方法・評価基準】									
授業内容の理解度を確認するために毎回の小テストで評価するほか、期末試験で評価する。 積極的な授業参加度、授業態度や出欠席によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									
科目名		建築法規 2					年度	2024	
英語表記		Building Codes and Regulations 1					学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル			評価方法	自己評価
1	イントロダクション/用語の定義	建築法規の社会的意義と用語の定義を理解する	1	建築法規の意義	建築法規の社会的意義を理解する			1	
			2	法令集の使い方	法令集の使い方と授業の受け方を理解する				
			3	建築物等の用語	建築物・居室などの用語を理解する				
2	用語の定義 2	用語の定義を知る	1	延焼のおそれのある部分	延焼のおそれのある部分等の用語を理解する			1	
			2	建築行為	建築行為や大規模の修繕等の用語を理解する				
			3	設計課題に向けて	設計製図の課題と建築基準法規制の関連を知る				
3	用語の定義 3	防火関連用語の定義を知る	1	耐火構造等	耐火・準耐火・防火構造の用語を理解する			1	
			2	耐火建築物等	耐火建築物・準耐火建築物の用語を理解する				
			3	不燃材料等	不燃・準不燃・難燃材料の用語を理解する				
4	面積・高さの算定 1	建築面積・延べ面積の問題を解くことができる	1	敷地面積	敷地面積について理解する			1	
			2	建築面積	建築面積の問題を解くことができる				
			3	延べ面積	延べ面積の問題を解くことができる				
5	面積・高さの算定 2 / 一般構造 1	高さと階数・一般構造について知る	1	地盤面	地盤面について理解する			1	
			2	高さと階数	建築物の高さと階数の問題を解くことができる				
			3	居室の天井高さ等	居室の天井高さ等について理解する				
6	一般構造 2	採光・換気等について知る	1	居室の採光	居室の採光の規制を理解する			1	
			2	採光の問題	居室の採光の問題を解くことができる				
			3	居室の換気等	居室の換気等の規制を理解する				
7	一般構造 3	シックハウス対策・階段等について知る	1	居室の換気等	石綿・シックハウス対策等を理解する			1	
			2	地階・長屋等	地階と長屋等の規制を理解する				
			3	階段・傾斜路等	階段や傾斜路の規制を理解する				
8	防火と避難 1	防火区画等について知る	1	耐火建築物規制	耐火・準耐火建築物が必要となる条件を理解する			1	
			2	防火区画	防火区画の 4 つの種類を理解する				
			3	防火区画	防火区画の規制内容を理解する				
9	防火と避難 2	内装制限・避難規定について知る	1	内装制限	内装制限の規制内容を理解する			1	
			2	避難関係規定	避難関係規定の適用範囲を理解する				
			3	直通階段	直通階段や 2 以上必要な場合等を理解する				
10	防火と避難 3	各種避難規定について知る	1	排煙設備	排煙設備の規制内容を理解する			1	
			2	非常用の照明装置	非常用の照明装置について理解する				
			3	非常用の進入口等	非常用の進入口や非常用エレベーターを理解する				
11	構造計算・構造強度 1	構造計算・木造等について知る	1	構造計算の必要	構造計算の必要な建築物の条件を理解する			1	
			2	許容応力度等	荷重や外力、許容応力度等の規制を理解する				

			3	木造	木造の規制について理解する		
12	構造計算・構造強度 2	補強CB造・鉄骨造・鉄筋コンクリート造について知る	1	補強CB造	補強コンクリートブロック造について理解する	1	
			2	鉄骨造	鉄骨造の規制について理解する		
			3	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造の規制について理解する		
13	建築確認手続きと検査	建築確認手続きについて知る	1	確認申請	確認申請の流れと規制を理解する	1	
			2	完了検査	完了検査の流れと規制を理解する		
			3	中間検査	中間検査の必要な場合や流れと規制を理解する		
14	前期のまとめ	前期の内容を問題演習を通し理解する	1	用語の定義・防火等	各法規の内容を理解している	2	
			2	面積・高さの算定	計算問題が解け、内容を理解している		
			3	構造強度・手続き等	各法規の内容を理解している		
15	期末試験	試験問題を通し前期全体の内容理解を深める	1	用語の定義・防火等	各法規の内容を理解している	2	
			2	面積・高さの算定	計算問題が解け、内容を理解している		
			3	構造強度・手続き等	各法規の内容を理解している		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							